

第5次レッドデータブック： 絶滅のおそれのある日本の野生生物

The 5th Red Databook, Threatened wildlife of Japan

マツムラソウ

Titanotrichum oldhamii

日本植物分類学会

絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会 維管束植物分科会



環境省 編

令和7（2025）年3月



この文献はクリエイティブ・コモンズ 表示-非営利-改変禁止 4.0 国際ライセンスの下に提供されています。

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/deed.ja>

種毎の解説を引用する場合には以下のように記述してください。

引用表示：日本植物分類学会. 2025. マツムラソウ. 環境省（編） 第5次レッドデータブック：絶滅のおそれのある日本の野生生物.

Citation: Japanese Society for Plant Systematics. 2025. *Titanotrichum oldhamii* Ministry of the Environment, Japan (ed.), *The 5th Red Databook: Threatened wildlife of Japan*.

被子植物門 Angiospermae イワタバコ科 Gesneriaceae

マツムラソウ

Titanotrichum oldhamii

カテゴリー判定結果 絶滅危惧Ⅱ類 (VU) 基準 D

推定開花株数が 1000 個体未満。

評価分科会： 維管束植物分科会

基礎情報

【形態】

高さ 15-70 cm。葉身は長さ 5-20 cm。長さ 10-50 cm の総状花序を伸ばし、ふつう一方向に開花する。花冠は長さ 3.5 cm、花喉部に赤褐色の斑があり、黄色。

【生活史】

多年草。花期は 7-10 月。

【生育環境】

湿潤な岸壁に生育。

【分布域】

琉球（石垣島・西表島）、台湾・中国に分布。

現在の生育状況

【生育地の現況】

2018 年調査では 1 メッシュで数十個体の現存が推定されたが、個体数を過小に推定していると考えられる。基準 D により VU とした。

現地調査の集計結果 2018 年調査

【「現存する株数」別のメッシュ数】

<10	<50	<100	<1000	<10000	>10000	合計	絶滅	その他
0	1	0	0	0	0	1	0	0

【存続を脅かす要因上位3項目の件数】

1 番目	2 番目	3 番目
要因		
件数		

特記事項

特になし

旧レッドリストカテゴリーと掲載名

第4次 2020:	マツムラソウ	<i>Titanotrichum oldhamii</i>	CR
第4次 2019:	マツムラソウ	<i>Titanotrichum oldhamii</i>	CR
第4次 2018:	マツムラソウ	<i>Titanotrichum oldhamii</i>	CR
第4次 2017:	マツムラソウ	<i>Titanotrichum oldhamii</i>	CR
第4次 2015:	マツムラソウ	<i>Titanotrichum oldhamii</i>	CR
第4次:	マツムラソウ	<i>Titanotrichum oldhamii</i>	CR
第3次:	マツムラソウ	<i>Titanotrichum oldhamii</i>	CR
第2次:	マツムラソウ	<i>Titanotrichum oldhamii</i>	VU
第1次:	—	—	—

都道府県レッドリスト・レッドデータブック掲載状況（令和4年度末時点）

沖縄県[絶滅危惧Ⅱ類(VU)]

保護に係る法令指定状況（令和4年度末時点）

指定なし

参考文献

- 大橋広好・門田祐一・邑田仁・米倉浩司・木原浩（編），2017. 改訂新版日本の野生植物 5. 474pp., 284pls. 平凡社，東京.

アセスメントサマリー（Assessment summary）

Titanotrichum oldhamii has been assessed for threatened wildlife of Japan Red List 5th edition.
Titanotrichum oldhamii is listed as VU under criteria D.

D. Population size estimated to number fewer than 1,000 mature individuals.

Threat types:	No Data
Law designation status for conservation	—

執筆者:	日本植物分類学会
Author:	Japanese Society for Plant Systematics

公表年月：2025 年 3 月